

平成29年度 第4回御殿場市市民協働型まちづくり推進協議会〈議事録〉

日 時：平成29年9月19日（火）
午後3時～午後4時45分
場 所：市役所東館 201～203 会議室

出席委員：小高由佳・高村典子・山本裕一・川口勇雄・児島洋美・小宮山なほみ・渡邊恵子・天野哲也・湯山有朋・川口聡・細谷洋一郎・杉山宏治・勝又欣也・勝又文弘

アドバイザー：牛山教授（市民協働アドバイザー・明治大学政治経済学部）

事務局：田代課長・勝又統括・原田（市民協働課）

1 開 会 15:00

2 あいさつ(会長)

3 協議事項について(会長)

(1) 視察研修報告【資料1】 15:06

(1) 視察研修報告

【会長】センターを活発に使っている。立地条件もよく行きやすい。問題を解決しようとする市民団体が逗子市ではどんどん広く活発に市民活動をしている。学校のプールも市民が使える。なるべく多くの方がセンターを使えるようになっていた。御殿場市の10分の1の面積で5万9千人が利用していて、人口密度の違いもあるけれど、使いやすいところではあった。

【委員】逗子市は生涯学習ということで全国的に優れた組織で、逗子市の規模から考えても先進的な組織形態だと思った。

私はずっと教育関係の仕事をやってきた。大人の教育では、学校教育のように一方的に教わるのではなく、お互いに学び合う場面がすごくある。生涯学習の観点から、市民が学びあう中で行政と民間が互いに同じテーブルについて学び合っていく。そういう意味で市民協働のセクションが生涯学習を担当しているという非常に理想的な市だった。

今この場面でも我々大人同士、行政と市民が一緒になって同じテーブルに、同じ方向で、同じ目的とテーマで議論をしている。まさにここは生涯学習だ。

生涯学習は行政だけではなく民間の取り組みもたくさんあるので、御殿場市の学習という観点からの取組をもっと体系化させて、市民に御殿場市ではこれだけ学習機会があると広め、学習という形の中で市民にもっと御殿場市について興味関心を持ってもらう。それがまちづくりに繋がっていくと思った。そういう意味で逗子市の取組に非常に興味を持って、行って良かったと思う。

【委員】見に行った施設が駅の近くで、そこに学校があり、その学校の一部を使って事務局の施設やプールがあるということで、人が必然的に集まる。視察時大勢いたし、ミーティングスペースにも大勢いた。非常に驚いたしうらやましきもあった。

市民協働の仕組みとしてコーディネーター制度やポイントシステムがあったりして、これらを参考にしたい。

【委員】自分の経験をもとに何ができるかなと考えている。先進市を見せてもらって勉強になった。逗子市での取組を御殿場市だとどこまで真似できるかをよくみせてもらいながら今後やらせてもらいたい。

【委員】逗子市のポイント制度。御殿場市ではやっていないけど県下で健康を前へという取り組みをほとんどの市町村がやっている。検診や健康に関することをするとポイントがたまる。御殿場市でもやっていくべき。そうすると健康に対して興味も出るし、参加者も物をもらえたりお得感を得られる。そういった中でも人が集まるのかなと思う。

行政と市民との間にコーディネーターがいることがポイント。行政側には行政でできることできないことがあって、民間側には行政にやってほしいことがある。コーディネーターがうまく調整してくれると行政側のできないことも市民に伝わるし、市民の気持ちも行政側に伝わる。

【委員】トップのひとつの明確なメッセージが大事。トップがしっかり理論を持って先頭に立ってメッセージを発信していることが、逗子市のうまくまわっているひとつのポイントではないか。行動マップも必要だが、トップの明確なビジョンもやっていければいいのでは。

【委員】今皆さんが言ったから言うことない。今後の活動に活かしてくれれば。

【委員】①活動範囲が狭いので非常に活動しやすい環境にある。御殿場市は広いから交流センターで活動するとき、遠くからは車がないと来られない。②団体数が多く、団体登録しても会員がひとりというやる気がすごい。素晴らしい。御殿場市だと何人か集まらないと活動が始まらない。

【委員】ママ活情報局という1600人いるグループを統括している立場からいうと、逗子の素晴らしきは本当にすごい。けれど御殿場も良さがある。

市民活動室は非常に使いやすい。車がない人達でも、今駅前のBE-ONEビルの和式トイレをママ活の提案で洋式になおしてもらったり、キッズコーナーをつくってもらったりしている。大きなイベントをやるにあたっては市長をはじめ市役所のいろんな部署の方が喜んで協力してくれている。私自身は、ママ活が大きくなったから話を聞いてくれるのはもちろんあるけれど、市民活動団体でも私みたいに誰か切りこんでいく人がいれば絶対に市も動いてくれると思う。

私はフェイスブックでいろんな情報を流している。市民団体登録をしていない団体がものすごくある。団体登録するメリットに興味もないし、市の力を借りようとしないうちに御殿場市民主導で動いている感はある。逗子市は行政主導で市民活動をひっぱっていている感じ。どちらが良いか。どちらも良い。これからはとても使いやすい器もあり、受け皿もすごく良く対応してくれる職員の方がいるので、協働という考え方をもっと浸透させ、実はきいてくれるんだということがわかれば、行政との協働に挑戦していく団体もいるだろう。そうしたらもっと楽しい協働の形が出てくると思う。御殿場もけっこう良いと思う。本当にありがたいと思っているし、みんな知らないだけかなと私は思う。

【委員】逗子に初めて行った。狭い所にいっぱい人がいてコンパクト。駅から市役所・交流センターまで歩いて行ける距離でうらやましい。御殿場は逗子にくらべ行政と市民の距離がちょっと遠いと感じた。逗子は本当に近くて部署ごとに担当がいるところがまわしやすいのかな。市民交流センターの説明者と共通の知り合いがいたことにびっくりした。

【委員】市民活動の観点から登録団体が900ある。市民活動団体と生涯学習のガイドブックに掲載されている団体数が約370。御殿場と違う所は室内的な活動。文化芸術が370の内100。次にスポーツ(ほとんどがヨガ・太極拳などの室内競技)。御殿場との相違は人口比率や環境があるのでそれぞれの市町によって特色がでる。逗子市は一人でも団体。団体名が個人名で登録されている。御殿場は団体とは3名以上で団体名が個人名はあり得ないというのが私たちの今までの考え。そういうものにとらわれなくて視野を広くし、いろんな面で情報ネットを広げ、皆さんが活動したい環境づくり、伝達できればと思う。

【会長】視察に行かれなかった方、質問はありますか。

【委員】特にないです。

【委員】トップダウンが速いという市長の判断。そこがすごい。トップが判断してOKを出すと下が動ける。協働型事業では話し合いをしてそれを回してもらおうのとはそのスピードがだいぶ違う。高村さんが言うのもよくわかる。

そんなに御殿場も捨てたもんじゃない。もっとやりようによってはスピードの部分では違うのかもしれないが、トップダウンというよりもこちらの方でどんどんスピードをもって動かしていくのもいいのでは。

【委員】先ほどの健康のマイレージの話。健康を考えると皆さんウォーキングをする。普段からウォーキングしておく健康になり病院にかからなくて済む。その分で市がバスをチャーターして年に1回富士山に連れていく。そういうことをやっている市もある。

(3) 今年度市民協働事業等進捗について(報告)【資料3】 15:29

[市民提案部門]

①親と子の発達支援プロジェクト

【委員】まだ活動無し

②御殿場フィルムコミッション支援事業

【委員】6月30日キリンディスティラリーの会議室でフィルムコミッションの会議に参加した。メール配信は始まっていて、私も登録していてチョコロメールがくる。最近もエキストラ出演依頼メールがきた。順調に活動が進んでいると思う。メールの登録人数3000~4000と言っていたのでみなさん登録をお願いします。

【事務局】順調に進んでいると報告がきている。9月13日現在メールアドレス登録者537人、17回配信。当初の事業計画ではこのシステム作りが1年目では大きな目標だったが、思いのほか順調にいつているので、例えばロケPRを魅力発信課と協働して、県外で開催されるロケの誘致イベントと一緒にいくといった事業も展開していきたいという相談があった。当初の予定では1年目でそこまでたどり着くのは難しいということで事業計画には載っていなかったが、旅費の部分については申請の金額の中でそういった収支を計上していきたいと相談があったことを報告します。

【会長】これについて意見がありますか？

—意見なし—

③防災都市御殿場づくり体験の日

【委員】去年度3月に一度にやっていた内容を今年は3回に分けて9、10、11月に行う。9月は熊本で実際に被災したYMCA東山荘のまるめさんが話す講座で、聞きに行った。10月は地震体験で、地震車が来たり、体験ブースを設ける。11月は被災した場合のこころのケアで、マザリーズの筒井さんの話やペットの話がある。順調に進んでいるようだ。

④富士山みくりやよってかつ祭

【委員】10月22日ふじざくらで開催ということで準備をしている。選挙と

重なり玉穂支所が投票所になるので駐車場が心配だったけれど、今朝調整して確保できた。同じ日に体育館で全国から 50 代から 60 代の人が集まってバレーボール大会決勝が開催される。前日に時之栖でその交流会があり、そのステージを借りてよってかつ祭の PR を行う。このようなイベントも行いながら準備は順調に進んでいる。

⑤食育とキッズクッキング

【委員】記憶にないから、たぶんなかったか出られなかった。

⑥我が家流子育てをつくろう！～家族のコミュニケーション力向上事業～

【委員】ラジオ局に筒井さんがよくきていて、頻繁に活動している。

【委員】沼田の人達と沼田ウォーキングをやろうとか、業務だけではなくいろいろな幅がある。

⑦富士山の自然環境保護～森林限界付近の植生調査と御殿場口砂礫地の環境に係る冊子の作成～

【委員】夏にボーイスカウトを対象にやると案内をもらったが、行けなかった。日程が直前にならないとわからないので調整が難しい。去年は参加したが残念ながら本年はまだ参加していない。

【委員】都合が合わなくて出られなかった。

[はじめの一步部門]

① 印野旧石田家を活用した地域振興と文化財保全

【委員】当初の予定では 9 月から 2 月まで年 4 回と聞いている。まだ連絡がない。これからのようだ。

—15:43 休憩 16:00 再開— (その間ご縁をむすび隊プロジェクト準備)

(2) 平成 29 年度市民協働型まちづくり事業について

①行政提案部門提案【資料 2】

ご縁をむすび隊プロジェクト (魅力発信課)

行政提案説明 16:03

ご縁をむすび隊団体説明 16:05

事業説明 16:09

質疑応答

【委員】資料の 3 ページにある支出の説明をお願いします。

【担当課】上から、イベント前の事前講習会を参加者にやっていただくための講師謝礼。講師は社会福祉協議会の方。使用料はイベント会場のタンタローバに払う使用料。飲食代 20 万円はイベント時の参加者飲食代で、参加者からの負担金で賄う。消耗品費はイベントで使うさまざまな消耗品費。印刷費・

広告料はイベントの告知広告として。保険料はイベントの事前とイベントの2回分。雑費は振込手数料等です。

【委員】保険のところ、事前とイベントと？人数50人？

【担当課】50人の内訳は男性20人、女性20人、事務局10人。

【委員】イベント参加者は事前にもきてイベント当日にも来る？同じ人？

【担当課】そうです。

【団体】おそらく講習会はワークショップになる。女性磨きのワークショップ、ファッション、メイクアップ、男性のセミフォーマルの着こなし方などきつと単体で興味を持って参加する方もたくさんいる。その中で学んだものを今回最終的なタンタローバのパーティーで活かしてもらえたらうれしい。ワークショップに参加した方が絶対次の婚活イベントに参加するかはわからない。おそらくそこに到達するのが20組。

【委員】事前講習会の会場はどこ？使用料が無料のところ？

【担当課】ふじぎくらを考えている。

【委員】参加者は市内だけ？

【担当課】市外も入る。

【団体】どちらかという私たちの考えでは男性は市内、女性は外から声をかけてもらわないと定住には結びつかない。御殿場付近の女性が御殿場在住の男性と恋に落ちてもらえればありがたい。

【委員】年齢制限は？30過ぎている人たちは結構切実なのであまり年齢が低いと…

【団体】そのために市場調査をしている。男性が何歳ぐらいの女性と結婚を具体的に考えているのか、女性はどのぐらいの年齢の男性を求めているのか。年収、仕事場など踏み込んだアンケートを行っている。その結果年齢層がわかれたらうまくマッチングをしながら2種類の企画をしてもいい。

【委員】再婚の人は積極的だったりする。40代とか。子ども産めないじゃんという人をあまり市でバックアップしないでしょう。

【団体】婚活という言葉でくくると実際に売れ残ってしまった人もいらっしゃるけれど、そこまで幅を広げるとくつつくものもくつつかなくなってしまうので、今回の最初にトライするのは晩婚ではなく若い方。元気な赤ちゃんをどんどん産んでもらいたいし、それがこの町のエネルギーになると思う。若いといっても20代から30代のどこまでなのか、それは市場調査をしながら。この事業を3年で終わらせるつもりはない。進化型にしていきたい。

【委員】仕事で目的と手段の使い分けを意識してするようにしている。当初なぜ担当課が魅力発信課なのかと考えたときに、御殿場の魅力を発信するのが目的であって手段が婚活なのだ、と考えれば先ほどの説明でストーンと落ち

た。あくまでも御殿場の魅力を発信する手段としてこういうイベントを活用するという考え方からいくと、今言った年代の若い方にターゲットを置くという意味合いができてくる感じがした。

【委員】御殿場の魅力に自衛隊がある。自衛隊の婚活は大人気。でも自衛隊は転勤してしまう。幹部は転勤族。兵隊はそのままいる。そのあたりは？

【担当課】滝ヶ原駐屯地内にある結婚相談所で働く自衛隊員の方に委員に入ってもらっている。滝ヶ原駐屯地は年に1度おおきな入れ替わりがある。家を建てている人も多く、奥さまは家に残って旦那さんだけ単身赴任という話も結構あるのでそういった形でやっていただいたらいい。

【委員】去年ぐらいから一回こっちにきたらもどってこられないという決まりができたそう。そうなるからとにかく奥さんがついてこない。単身赴任ばかり。本当にかわいそう。そういうところで奥さんが来てくれるような御殿場の魅力を。

【団体】わりと外から見ると自衛官かっこいい、収入もいい、一緒になりたいと思う。現実的にはそういった問題もあるので、ただ誰でもいいからくっつけるのではなく、そういう問題をどうしたらいいのか。

【委員】それこそアンケートで。

【団体】そうなんです。いろんな意見が今までは届いてこなかった。けれど、核となるものが入れば、たとえばフェイスブックで問いかけ、情報交換できる。この町はなんで結婚がしにくいのかというところから始めていかないとなかなか現実味をおびてこないだろう。このプロジェクトでいろんな職種のメンバーが入ったので実行に移していけるメンバーがそろった。

——同承認——

4 その他 16:26

次回（第5回協議会）開催について

新補助金制度検討委員会

10月17日（火）午後3時～ 市役所東館207号室

5 閉会 16:40